

役員所感

専務理事 小嶋 宏志

昨年、上越 J C は創立 50 周年という大きな節目を迎えました。創立以来、半世紀もの永きに亘り繋いできた上越 J C の歴史は、我がまちの未来を想う熱き先輩諸兄の弛まぬ努力と挑戦による歩みです。そして今日までの継続事業や、姉妹・友好 J C との友情は、現在の上越 J C に於ける連綿と紡がれた運動の根幹です。私達は先輩諸兄に学び、次の半世紀へ向け、51 年目の新たな時代に向けた新たな J C 運動の一步を踏み出す事となります。

「混沌という未知の可能性を切り拓き」 J C 宣言の中に謳われる一節です。混沌という言葉は現在の我々が置かれた状況を表しますが、ともすると、その意味をネガティブに捉えてはいないでしょうか。戦後の焼け野原に立たされ未来に希望を持つことが困難な混沌とした状況を打破し、その後の経済発展により生まれ変わった日本のように。成長から成熟社会へと進む今の混沌とした過程を大いなる可能性を持つ状況と捉え、今、J C には何が求められているかを真剣に皆で考えるべきです。今後、地方の中小都市や過疎地の人口減少といった量的縮小は、地域の質を劣化させる方向に働かざるをえないと言われます。よって益々、量の変化に左右されない地域色の強い皆で創る社会が求められるのではないのでしょうか。それには、市民が持つ感性を高め、この地域が持つポテンシャルを市民力に結びつけて行くべきだと考えます。交通インフラや物質的豊かさを追求した成長の果てに必ずしも豊かな社会があるとは言えません。地域の先駆者として、今の時代と地域性に即した、真に豊かな社会を目指し、自由な発想を持って J C 運動に取り組む事が不可欠です。

社会を変えるとは、そこに住まう人々の意識が変わる事だと考えます。50 周年時に掲げたテーマ「共創」社会の実現を目指し、郷土と人々と共に社会参画意識の向上を計りながら勇気ある決断と確かな実行力を持って 51 年目の新たな J C 運動を邁進して行きます。